

オーディオ実験室収録

STAGE+を楽しむ(100)(HP 収録) —アリス=紗良・オットとユリウス・アザル—

1. 始めに

前報(99)に引き続き、STAGE+のアリス=紗良・オットとユリウス・アザルの演奏を試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、アリス=紗良・オットとユリウス・アザルの演奏を選びました。

アリス=紗良・オットとユリウス・アザルがクラブで演奏
ポップ・クーダム

収録日: 2023年10月9日

DG所属のアーティストの中で、若きスターとして活躍する二人がイエロー・ラウンジ・シリーズに登場。ピアニストのアリス・紗良・オットとユリウス・アザルが、ベルリンのクラブからライブの演奏をお届けします。Ex Pfadfinderei によるビジュアルアートとともに、二人の最新アルバムからのレパートリーを含む、多彩なプログラムが披露されます。

ソリスト:

ユリウス・アザル (ピアノ)、アリス=紗良・オット (ピアノ)

曲目:

フレデリック・ショパン

24の前奏曲 op. 28 より第24番ニ短調 : Allegro appassionato

アリス=紗良・オット(ピアノ)

チリー・ゴンザレス 前奏曲嬰ハ長調

アリス=紗良・オット?(ピアノ)

フレデリック・ショパン 24の前奏曲 op. 28 より 第15番変ニ長調《雨だれ》

アリス=紗良・オット(ピアノ)

アルヴォ・ペルト 《アリーナのために》

アリス=紗良・オット(ピアノ)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ第14番 op. 27-2 《月光》より第1楽章

アリス=紗良・オット(ピアノ)

フランツ・リスト

パガニーニの主題による大練習曲 S. 141 より第5番《狩り》

アリス=紗良・オット(ピアノ)
ヨハン・セバスティアン・バッハ
平均律クラヴィーア曲集第1巻より前奏曲ハ長調
アリス=紗良・オット(ピアノ)
ユリウス・アザル イントロダクション
ドメニコ・スカルラッティ ソナタへ短調 K. 466
ユリウス・アザル(ピアノ)
ユリウス・アザル トランジション I
ユリウス・アザル(ピアノ)
アレクサンドル・スクリャービン 24の前奏曲 op. 11 より第21番変ロ長調
ユリウス・アザル?(ピアノ)
ユリウス・アザル 即興演奏 I
ユリウス・アザル(ピアノ)
クロード・ドビュッシー 前奏曲集第1巻より《沈める寺》
ユリウス・アザル(ピアノ)
ユリウス・アザル 即興演奏 II
ユリウス・アザル(ピアノ)
セルゲイ・ラフマニノフ 13の前奏曲 op. 32 より第10番ロ短調
ユリウス・アザル(ピアノ)
ユリウス・アザル 即興演奏 III
ユリウス・アザル(ピアノ)
セルゲイ・ラフマニノフ 13の前奏曲 op. 32 より第12番嬰ト短調
ドメニコ・スカルラッティ ソナタへ短調 K. 56
ユリウス・アザル(ピアノ)



アリス=紗良・オットとユリウス・アザルがクラブ
で演奏

3. 試聴の経過

今回も LAN アクライザーをスイッチングハブから PC への LAN ケーブルに装着して聴いていきます。

イエローラウンジというクラシックのライブハウスのようなところでの二人のピアニストの演奏です。司会の紹介とピアニスト自身による解説を交えながらリラックスした雰囲気での演奏が進行します。曲目はピアニスト自身が選んだものを取り混ぜて演奏していきます。

アリス=紗良・オットは、ショパンから始まり、お馴染みの曲をいつものように繊細かつシャープなピアニズムで、様々な作曲家の曲を自由なスタイルで演奏しています。



ユリウス・アザルは、若いピアニストで、スカルラッティ、スクリャービン、ドビュッシー、ラフマニノフの作品に自身の作曲を取り混ぜて演奏しています。若い感性で上記のような表現の難しい曲を弾き切っていきます。



4. まとめ

LAN アクライザーの効果により、ライブハウスのようなところでの。聴衆との距離感の近いところでの繊細な表現のステージ感を味わうことができました。

以上